

遠隔授業に関する Q&A 2020/05/11

Q1. 佛教大学の Web 学習期間の授業はどのように対応すればいいのでしょうか

A. 本学では、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、原則、春学期は教室での対面授業は行わず、遠隔授業を実施します。

当初、B-net Learning を使用することとしておりましたが、システム上に不具合が確認されたため、Google classroom を活用した Web での授業をお願いしております。資料配付や課題提出、掲示板や小テストなどの様々な機能を利用し、授業を実施してください。

また、学生と動画やファイルを共有できる Google ドライブも各先生にご用意していますので活用ください。

Q2. 遠隔授業を実施するにあたり、何か制限や取り決めはあるのでしょうか。

A. Web 学習期間に実施していただく遠隔授業については、文部科学省より、「授業の終了後すみやかに」下記の2つを確保するよう、指導を受けています。

①設問回答、添削指導、質疑応答等による十分な指導。

②「学生の意見の交換機会」を確保する。

つまり、資料を提示し読ませるだけの授業や、授業動画を閲覧させるだけでは遠隔授業とは認められません。指導を行い、学生からの意見や質問に対応する必要があります。

Q3. 遠隔授業を実施するにあたり、テキストや教材による学修を一定時間自宅において行わせたいうえで、メールや掲示板等を用いて質疑応答を行うことで、遠隔授業と認められますか。

A. 前述のとおり、授業外の予習・復習にあたるような、**単にテキストを読ませるだけの形態は認められません。**授業担当教員による Google classroom のストリーム機能にて、当該授業の目的やねらい、テキストを読むにあたっての留意点や必要な視点・観点等を示し、毎回の授業実施に併せて質疑応答による指導を行ったうえで、Google classroom の質問機能を利用し、学生の意見の交換機会を設ける必要があります。

面接授業と同等の教育効果が得られているか否かが判断の基準となります。

Q4. 今回、遠隔授業が5月11日からとなりましたが、当初予定していた Web 学習期間の4月20日から5月9日の取り扱いは、どのようにすればよいのでしょうか。

A. 文部科学省は「10週または15週の期間については弾力的に取り扱って差しきわらない」としながらも「1単位の学習時間が45時間である単位制度の趣旨を踏まえ、補講授業、遠隔授業、授業中に課すものに相当する課題研究等を活用し学習時間を確保することが前提」とすることを各大学に求めています。

そのことを踏まえ、休講分に相当する課題提示を行うなど、自宅学習 270 分 (3 週分) の学習時間を必ず確保してください。

Q5.外部機関等が提供している動画（Mooc、You Tube 等）で学修したことで、授業と認められますか。

A.外部機関が提供している動画を、授業内の教材の一部として使用することは認められますが、それを、授業の代わりとすることはできません。

あくまでも、その視聴が授業計画（シラバス）の中で計画されており、かつ授業内の教材の一部として使用するのであれば、教材として認められます。

Q6.よく、遠隔授業という言葉を目にしますが、佛教大学で想定しているものは、どのような形態のものなのでしょうか。

A.本学の基本的な遠隔授業は次のとおりです。

①オンデマンド型授業

・課題提示型：授業で使用する講義資料の配付や課題提出等による理解度確認や実技応答、学生同士の意見交換を行う授業。

・映像配信型：講義動画やナレーション付き講義資料を配信し、課題提出等による理解度確認や、質疑応答、学生同士の意見交換を行う授業。

②同時双方向型授業

・オンライン会議システム（Google Meet や Zoom）を活用し、リアルタイムで配信される講義や双方向で議論を行う授業。

Q7.テキストの一部を PDF にして Google classroom に掲出したいのですが、問題はないでしょうか。

A. 学校の授業における資料のインターネット送信については、従来は個別に権利者の許諾を得る必要がありました。

しかし、新型コロナウイルス感染症に伴う遠隔授業等のニーズに対応するため、「授業目的公衆送信補償金制度」が4月28日にスタートし、令和2年度に限り、補償金額を暫定的に「無償」で著作物を利用することができますが、自由に利用できるわけではありません。利用は「必要とされる限度」と規定されています。著作権者や著作隣接権者の利益を不当に害することとなる利用はできませんのでご注意ください。

詳しくは、文化庁のホームページでご確認ください。

URL：<https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/index.html>

Q8.遠隔授業の導入により、シラバスに変更が生じた場合は、どのように対応したらよいでしょうか。

A.B-netPortal のシラバス編集機能で編集し、本学学務課へご連絡ください。修正したシラバスの公開をさせていただきます。遠隔授業によって授業方法は変わりますが、授業自体の到達目標が変わるわけではないので、到達目標は修正できません。また、遠隔授業の取り扱いについては、その授業方法や時期、評価方法など詳細な記入をお願い致します。

また、シラバスの修正後は、必ず学生にも周知してください。

Q9. Google classroom の使用方法がわかりません。

A.、4月30日にお送りした Google classroom の操作マニュアルを参考にしてください。また、利用方法については動画もご用意していますので、参考にしてください。

本学ホームページ>大学案内>FD・SD への取り組み>遠隔授業への支援

URL: <https://www.bukkyo-u.ac.jp/about/activity/fd-sd/web-learning.html>

また、平日 10:00~16:00 の時間は、電話によるお問い合わせにも対応しておりますのでご利用ください。(最終ページのお問い合わせ先を参照してください。)

Q10. 何から始めたらいいのかわかりません。

A. まず、Google classroom のストリーム機能を使用し、Web 学習期間の授業方法やスケジュール(資料掲出のタイミングや同時双方向での授業の場合はその実施日時)、評価方法、授業の概要を学生へお知らせください。※これは、早急をお願い致します。

次に、授業の到達目標を確認し、その達成に向けてどのような方法が良いのかを検討したうえで、その評価方法を設定してください。遠隔授業だからと言って、同時双方向の授業を展開する必要はありません。対面授業と同じ教育効果があれば問題ありません。

Q11. 遠隔授業の出欠は、どのように管理すればいいでしょうか。

A. 全ての学生が、インターネット環境が整っているわけではないことを鑑み、Web 学習期間の 出欠については、極力、柔軟にご対応ください。レポート提出についても、パソコンの購入が遅れ、提出が遅くなることも想定されますので、提出期限についても柔軟な対応をお願いします。

Q12. Google ドライブとはどのようなものなのでしょうか。

A. Google の提供する「Google ドライブ」は、大容量の動画やファイル、写真を保存、共有できるオンラインストレージサービスです。

パソコンやスマートフォンなどあらゆるデバイスからファイルを保存、共有、アクセスできます。本学の先生方は無償でご利用いただけますので、今回の遠隔授業で、動画や資料を学生に提示する際ご利用ください。

Q13. 定期試験はどのような取り扱いになりますか。

A. 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、本学では春学期は遠隔授業で実施することとしました。試験期間の7月27日(月)~8月1日(土)は Google classroom 等で定期試験を実施していただいても結構ですし、遠隔授業を実施し授業内評価をしていただいても結構です。

定期試験を実施する場合は、その授業の曜日、時限(60分間)で実施してください。

※定期試験の時間は通常の授業時間と異なります。

時限	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限
時間	9:15	10:30	12:30	13:45	15:00	16:15
	~	~	~	~	~	~
	10:15	11:30	13:30	14:45	16:00	17:15

お問い合わせ先

佛教大学 教育推進部 学務課

TEL: (075) 493-9004

e-mail gakumu@bukkyo-u.ac.jp